



「日本の100選」の宝庫・延岡市

～ みなさんご存知ですか？ ～

延岡市内には国や関係団体などに選ばれた「日本の100選」など魅力ある景勝地がたくさんあります。

1.日本の歴史公園100選・・・城山公園

【国土交通省(都市公園法施行50周年等記念事業実行委員会)H18.10】



「日本の歴史公園100選」は全国にある公園の中から、名所・旧跡など地域を象徴しているかなどの基準により選考され、城山公園が選ばれています。県内では、西都原古墳群(西都市)、全国では日本三名園として知られる偕楽園(水戸市)、兼六園(金沢市)、後楽園(岡山市)などが入っています。



城山公園 千人殺しの石垣

城山公園は、1603(慶長8)年に初代延岡藩主高橋元種が築いた延岡城の城址です。大手門をくぐれば、基礎石を外すと石垣が崩れ1,000人の敵を殺すことができるといわれる「千人殺しの石垣」がそびえ、天守台跡にある鐘撞き堂では、今もなお、鐘守により時が告げられています。



てんがいち

のべおか天下一薪能

毎年10月には「千人殺しの石垣」を背景に、江戸時代の延岡藩主内藤家から延岡市に寄贈された天下一の能面を使って「のべおか天下一薪能」が開催され、全国から多くの能楽ファンが訪れます。



ヤブツバキ

また春は桜の名所、冬にはヤブツバキが咲きほこります。城山公園のヤブツバキは日本三大ヤブツバキ群(千葉県大原町、島根県松江市、当城山公園)の群生地のひとつで、毎年12月頃から花ごとに色形を違えた約3,300本のヤブツバキを見ることができます。

2.水の郷100選【国土交通省(「水の郷」審査委員会)H8.2】



岩熊井堰

「水の郷100選」は、市民による水辺の環境保全が活発な地域や水に関する歴史・文化が育まれている地域などを対象に選定されています。五ヶ瀬川の鮎やな、イカダ下りなどのイベント、流れ灌頂(かんじょう)などの伝統行事、岩熊井堰(いぜき)などの古くからの利水施設の保存利用が評価されたものです。

享保年間(1716～1736年)に延岡藩家老藤江監物と郡奉行江尻喜多右衛門により建築された五ヶ瀬川の「岩熊井堰」は、文化財として延岡の農業土木の歴史を伝えるだけでなく、現在も市内の農家に農業用水を提供しています。

3.かおり風景100選・・・五ヶ瀬川の鮎焼き【環境省(かおり100選委員会)H13.11】



秋になると五ヶ瀬川・大瀬川には「鮎やな」が架かります。延岡の秋の風物詩となっている五ヶ瀬川の鮎焼きの香りは、訪れた人に元気と安らぎをあたえる「かおり」漂う風景として「かおり風景100選」に選定されています。

延岡の海や川は地域住民やボランティアなどによる清掃活動により、希少な動植物が生息する美しい自然環境に保たれており、延岡の水辺は多くの市民の憩いの場となっています。

4.ヘリテージング100選・・・綱ノ瀬橋梁【毎日新聞社・H18.11】



ししがわ

北方町の鹿川溪谷に架かる橋

ヘリテージングとは日本の近代歴史遺産(明治、大正、戦前の昭和に建造された建築物や土木建造物)を実際に観光して楽しもうというもので、「なつかしい」「めずらしい」「うつくしい」という視点で選定されました。

市内では、五ヶ瀬川と綱ノ瀬川の合流点である北方町の鹿川溪谷に架かる1連の大橋と42連の連続アーチ橋が選ばれています。

5.日本の滝100選・・・行藤の滝【環境庁・林野庁(緑の文明学会、グリーンルネッサンス、緑の地球防衛基金)・H2.4】



むかばき

「日本の滝100選」は日本の美しい自然を象徴する滝を守るとともに、滝を通して自然と共生する豊かな心を育てることを目的に選定されたものです。行藤の滝のほか、県内では関之尾の滝(都城市)、矢研(やとぎ)の滝(都農町)、真名井の滝(高千穂町)が100選に入っています。

行藤山は雄岳と雌岳の二つの峰からなり、行藤の滝はその2つの峰の間から流れ落ちていきます。滝の落差は約77m、幅は約30mで、登山道から見える壮観な滝の景色は多くの市民や登山客に親しまれています。

6.夜景100選【夜景100選事務局・H16.8】

日本夜景遺産【日本夜景遺産事務局・H16.7】

美しい日本の歩きたくなる道500選【国土交通省・美しい日本の歩きたくなるみち推薦会議・(社)日本ウォーキング協会・H16.12】



愛宕山からの夜景



愛宕山の道

「夜景100選」は全国の夜景が見える場所を調査し、「訪れた人が感動するような夜景であること」「展望施設として開放されていること」などを基準に選定されたものです。また「すぐれた普遍的価値を持つ夜景」、「誰もが楽しめる夜景地」として選定された「日本夜景遺産」でも愛宕山からの夜景が宮崎県内で唯一選ばれています。

愛宕山は標高251m、古代は海に突き出した岬であったと考えられますが、その後、笠沙山(かささのやま)と呼ばれていました。また、この山は天孫ニニギノミコトとコノハナサクヤヒメが出逢ったという伝説の地です。

頂上への道は自然や歴史などの地域の魅力やそこに住む人たちの笑顔に触れながら楽しく歩ける道として「美しい日本の歩きたくなる道」としても選定されています。頂上付近にある展望台からは市街地や日向灘が一望でき、天気の良い日には遠く四国まで見ることができます。

7.日本の自然100選^{ほうり}・・・祝子川溪谷【朝日新聞社・(財)森林文化協会・S58.1】



21世紀に残したい日本の自然として、全国からの4万5千件の応募の中から選ばれた祝子川溪谷は、大崩山から流れる清流が花崗岩を削ってできた溪谷で、カモシカの生息する周囲の山々や「ツツジの標本室」と呼ばれる豊かな自然を有するという理由により選ばれています。

8.日本の重要な湿地500^{えだかわざか}・・・家田・川坂湿地ほか【環境省・H13.10】



生物多様性保全の観点から重要な湿地を選定する「日本の重要な湿地500」に、家田・川坂湿地が「希少種・固有種の水生植物が多く、新種も発見されている」という理由により選ばれています。

このほか、「希少種・貴重種が生息する地域」として五ヶ瀬川、祝子川、北川の感潮域、島浦島周辺海岸も選ばれています。

なお、全国では釧路湿原や尾瀬ヶ原などの有名な湿地が入っています。

9.快水浴場100選・・・須美江海水浴場、下阿蘇ビーチ(海の部特選)【環境省・H18.5】



須美江海水浴場



下阿蘇ビーチ

「快水浴場100選」は全国の海水浴場、湖沼・河川などの水浴場の中から、水質、安全性などの要件を満たす100カ所を選定したもので、市内では須美江海水浴場と下阿蘇ビーチが選ばれました。中でも下阿蘇ビーチは、特に評価の高い10カ所に贈られる「海の部特選」に九州で唯一選ばれています。

両海水浴場の周辺には、キャンプ場やスポーツ施設などが整備されており、海水浴シーズンには市内外からの多くの人で賑わいます。

10.日本風景海道全国72ルート・・・蒲江・北浦大漁海道【国土交通省・H18.5】



地域の景観、自然などの資源を有効活用し、訪れる人と迎える地域の交流による地域コミュニティの再生を目指す取り組みを支援する「日本風景街道(シーニック・バイウェイ・ジャパン)」に、大分県佐伯市蒲江町から延岡市北浦町につながる「蒲江・北浦大漁海道(日豊海岸シーニック・バイウェイ)」が選定されています。

9月から11月にかけて開催される「伊勢えびまつり」には全国から1万人を超える人が訪れます。